

# 令和7年度住之江区運営方針(案)について 【育む部会】



## 経営課題1 【子どもたちの未来のために】

### めざす成果及び戦略

- 1-1 【安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】 …… 4
- 1-2 【子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち】 …… 9



## 1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち

将来像	すべての子どもが誰一人取りこぼされることなく必要な支援を受けられる状態	課題	こどもサポートネットの充実、子育て世帯への切れ目のない見守り環境の整備	P4
-----	-------------------------------------	----	-------------------------------------	----

▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています



### 【具体的取組1-1-1】 支援が必要な児童、生徒への取組

取組	<p><b>児童や保護者のニーズに合わせた必要なサポートを関係機関と連携し実施</b></p> <p>＜課題＞ 支援にあたり保護者の同意を得られず、サービス等の利用につながらないケースがある。</p> <p>＜方向性＞ 児童や保護者のニーズを把握し、NPO法人等の関係機関との連携を図る。</p>	P5
----	--	----

### 【具体的取組1-1-2】 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

取組	<p><b>子育て支援室・地域保健活動担当を中心に妊娠期から就学まで切れ目のない支援、大阪市版ネウボラやこどもサポートネット等状況に応じた支援の提案</b></p> <p>＜課題＞ 子育てに関する情報が入手しやすくなるよう取組をすすめる必要がある。</p> <p>＜方向性＞ 引き続き、子育ての情報や相談の機会をホームページやSNS、広報紙等を通じて効果的に発信する。</p>	P6
----	--	----

## 1-2 子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち

将来像	子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態	課題	学習意欲の向上に向け、学校や関係機関等との更なる連携	P9
-----	--	----	----------------------------	----

▲ この将来像に向けて2つの取組を進めています

### 【具体的取組1-2-1】 児童、生徒の学力向上に向けた取組

取組	<p><b>少人数体制での理解度等に合わせた学習支援、放課後の課外授業の実施</b></p> <p>＜課題＞ 基礎学力アップ事業の参加者数増加に向け、さらなる周知の必要がある。</p> <p>＜方向性＞ 効果的な周知方法等を検討し、学校及び事業者との連携強化に努める。</p>	P10
----	--	-----



### 【具体的取組1-2-2】 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

取組	<p><b>未来に向かって挑戦する力や解決していく力を育む授業プログラム等の実施</b></p> <p>＜課題＞ より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。</p> <p>＜方向性＞ 学校の授業の一環としても実施できないか、学校や事業者など関係先との連携を図りながら検討していく。</p>	P11
----	---	-----

# 令和7年度 住之江区運営方針(案)

## 区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

## 区の使命(どのような役割を担うのか)

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～  
まちづくりの支援拠点としての機能の強化  
区民の視点に立った区役所サービスの提供
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～  
官民連携の強化による地域課題の解決  
区政情報・区の魅力の効果的な発信

## 令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

# 経営課題1 子どもたちの未来のために

## 【主なSDGsゴール】



めざすべき将来像(最終的なめざす状態)〈概ね10～20年間で設定〉

未来の担い手であるすべての子どもが、家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくよう、区民がより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現をめざす。

## 課 題

### 【安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】

- 本人や家庭への支援が必要な児童・生徒に対し、こどもサポートネット事業の充実など、社会全体で支える仕組みを強化するとともに、周囲の目が行き届きにくい就学前の子育て世帯に対しては、切れ目のない相談やサポートが可能となるよう、見守り環境の整備を進める必要がある。
- 子育てに関する様々な支援や相談窓口、交流の場の機能充実を図るとともに、これらに関する情報が、直接子育て世帯に分かりやすく効果的に伝わるよう、関係機関との連携やすみのえ情報局やSNS等の活用など、情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。

### 【子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち】

- 放課後等を活用した学習の場の提供や学習意欲の向上、学習習慣を身に付けるための支援など、児童・生徒の学力向上に向けた取組を充実する必要がある。
- 子どもたちが自分で未来を切り拓いていけるよう、将来に向かって自ら挑戦する精神や課題を解決する力を身につけたり、学習目的を見つけたりすることができる機会を提供していく必要がある。

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和7～11年度の5年間】

区役所、学校等各関係機関と地域や民間の区内のこども支援に取り組む様々な主体の連携協働のもとで、様々な子育て支援や相談に関する活動が展開されることで、未来の担い手であるすべての子どもが、誰一人取りこぼされることなく、支援が必要な場合に必要な支援を受けられる状態

戦略(中期的な取組の方向性)

- 妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の各ステージに応じて切れ目なく子育てをサポートするとともに、課題を抱える家庭や子どもへの支援などを行う。
- 子育ての悩みをみんなで相談しあったり、子育てに関する有益な情報が確実に簡単に入手できる環境の整備を進める。

指標

- 令和11年度末までに、区民アンケートで子育てを現在している人(妊娠中を含む)のうち、「住之江区内で子育てについて相談ができる場があることを知っている」と回答する割合 60%以上
- 年間を通じて重大虐待事案が発生しない状態の継続

# 経営課題1 子どもたちの未来のために

## 【具体的取組1-1-1】

### 支援が必要な児童、生徒への取組

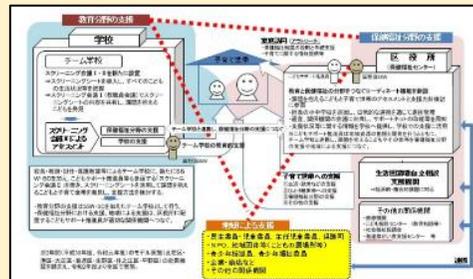
方向性	課題	方向性
方向性	保護者・児童への支援について、保護者にサポートやサービスの提案を行うが、同意を得られず、利用につながらないケースがある。引き続き民間資源やサービス等つなぎ先の充実と多様なサポートが必要である。	学校等関係機関との連携により、支援を要する児童等がとりこぼされることのないよう発見に努め、児童や保護者のニーズを把握し、NPO法人等の関係機関との連携を図る。
計画	取組内容	指標
画	<p>学校等と連携し、支援の必要な児童を発見するとともに、児童や保護者の状況や悩みを傾聴し、地域による子ども支援の取組や、児童支援に取り組むNPOなど民間の取組を含めた利用可能な支援を提案し、児童や保護者のニーズに合わせて利用に向けたサポートを行う。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>【6年度】100%（10月末時点） 【5年度】96.5% 【4年度】96.3%</p>	<p>子どもサポートネットにおいて、区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合 75%以上</p> <p>予算案</p> <p>—</p>

## クローズアップ —取組の解説—

### ■子どもサポートネット

- 学校における気づきを区役所や地域につなぎ、社会全体で支える仕組み

支援の必要な子どもや世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、社会全体で子どもと子育て世帯を各種施策により総合的に支援する取組です。



# 経営課題1 子どもたちの未来のために

## 【具体的取組1-1-2】

### 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

方向性	課題	方向性
計画	<p style="text-align: center;"><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳幼児健診や、地域担当保健師・子育て支援室等による相談対応、保育所(園)・幼稚園等との連携、4歳児を対象とした訪問等を通じて、妊娠期から就学に至るまでの間、切れ目なく子どもの状況を把握するとともに必要な支援を行う。</li> <li>● 特に2歳児を養育する保護者にハガキを送付し、子育てに関する困りごとで相談・連絡があった保護者に対して家庭訪問を行うなど、個々に応じた必要な支援につなげる。また、「手続きケアプラン」を母子健康手帳交付時に配布し、妊娠期から就学前までに最低限必要な手続きや相談先の情報を時系列にわかるように支援を行う。</li> <li>● 子ども・子育てプラザをはじめ区内の子育てに関わる各種機関と連携し、子育てマップ(年1回)や子育て情報紙「わいわい」(年12回)を発行するとともに、子育て層がアクセスしやすいよう、HPやSNS、デジタルマップなどICTを用いて、子育てに関する有益かつタイムリーな情報発信を推進する。</li> <li>● 区役所子育て支援室において、保育士・保健師・家庭児童相談員による子育て相談を継続する。</li> <li>● 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携して、切れ目のない一体的な相談支援を行うことを目的として、令和6年4月に設置された「こども家庭センター」を円滑に運営する。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>前年度までの実績</b></p> <p>【6年度】90.0%      【5年度】93.1%      【4年度】91.3%</p>	<p style="text-align: center;"><b>指標</b></p> <p>子育て世帯保護者アンケートで「子育ての相談先を知っている」と回答する割合40%以上</p> <p style="text-align: center;"><b>予算案</b></p> <p style="text-align: center;"><b>1,376千円</b></p>

## クローズアップ —取組の解説—

### ■ 保育コンシェルジュってなに？

幼稚園や保育所(園)・小規模保育などの施設の情報や、入園入所の説明、地域の子育て支援や、様々な保育サービスの情報を保護者のみなさまのお話を伺いながら、ご家庭のニーズにあったご案内をさせていただきます専門員です。(事前予約をお願いします。来所当日、空きがあれば相談できます。)

【窓口】住之江区役所 保健福祉課(福祉) 1階3番 【時間】9時30分～12時、13時～16時まで  
 【相談日】月曜日～金曜日 【問い合わせ】(06)6682-9857

保育コンシェルジュのご相談を

保育コンシェルジュってなに？

子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。

保育コンシェルジュの役割

- 子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。
- 子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。
- 子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。

保育コンシェルジュの役割

- 子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。
- 子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。
- 子育てに関するお悩みを解決するための専門員です。

委員からのご意見

分類

対応方針

【部会】

子育てに関する相談を気軽に行っていただけ、広報紙以外でも相談先について広く知らせていただきたい。

住之江区のホームページやFacebook、Xでも相談先等の情報を発信しています。また、母子健康手帳をお渡しする際に、小学校入学までの必要な手続きや子育てのサポート、相談先など、子育て世帯が必要とする情報をまとめたお役立ちファイル「手続きケアプラン」をお渡ししています。引き続き、子育ての情報や、子育てに関する多様な相談の機会を効果的に発信してまいります。

①



※分類

①既実施

②当該年度において対応予定

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

④今後引き続き検討

⑤対応困難または対応不可

⑥その他

委員からのご意見	分類	対応方針
<p><b>【全体会】</b>                      少子化対策の取組について教えてほしい。</p>	<p>①</p>	<p>大阪市全体として、出産・子育て応援交付金事業の実施や産後ケア事業の拡充、保育料の無償化をはじめ各種手当・助成金の支給などに特に力を入れて少子化対策に取り組んでいます。</p> <p>住之江区では、妊娠・出産期から青少年期のすべてのステージに応じた切れ目のない支援の体制を整備するとともに、保護者が孤立することなく楽しみながら子育てができるよう、悩みを相談しあえたり、子育てに関する有益な情報が確実、簡単に入手でき安心して子育てができる環境の整備を引き続き進めてまいります。</p>
<p><b>【全体会】</b>                      待機児童問題についての取組を教えてください。</p>	<p>①</p>	<p>当区においては、いわゆる待機児童数は「0」ですが、ご希望の保育所に入れられない事例はございます。入所の決定に関しては、申請された方の状況を点数化して決定していますが、点数化については世帯やきょうだいの状況等で加点するなどしています。</p>

※分類 ①既実施 ②当該年度において対応予定 ③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定  
 ④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

【主なSDGsゴール】



めざす状態

【令和7～11年度の5年間】

社会が多様化する中で、子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態

戦略(中期的な取組の方向性)

指 標

- 地域や民間との連携のもと、誰もが安心して勉強ができる環境の充実を図り、学習を楽しむ体験をすることで、学習意欲が向上するよう促す。
- 知識だけでなく、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養い、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちとやり抜く力を育む。

令和11年度末までに、全国学力・学習状況調査等のアンケート結果で区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合 70%以上

方向性	課題	方向性
	基礎学力アップ事業について、令和5年度より新たに小学校でも実施しており、参加者数の増加に向けさらなる周知の必要がある。	参加者数の増加につながるような効果的な周知方法等を検討し、学校及び事業者との連携強化に努める。

計画	取組内容	指標
		<p>&lt;基礎学力アップ事業&gt; 放課後の学校施設を利用し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業(基礎学力アップ事業)を週2回程度行う。加賀屋塾(加賀屋中学校)、南港塾(南港南中学校)、真住塾(真住中学校)、住一塾(住吉第一中学校)、安立塾(安立小学校)、学びひろば住吉川(住吉川小学校)、住之江塾(住之江小学校)、ひら子塾(平林小学校)、新北島塾(新北島小学校)、みなみ塾(南港みなみ小学校)において実施する。</p> <p>&lt;放課後学習チャレンジ教室事業&gt; ・こどもサポートネット事業の対象となる児童などに、学校やスクールソーシャルワーカー、福祉関係者等と連携し、それぞれの理解度や特性に合わせた少人数体制での学習支援を小学校施設で行う。</p>
前年度までの実績		予算案
	<p>【6年度】 &lt;基礎学力アップ事業&gt; 加賀屋塾・南港塾・真住塾・住一塾・安立塾・学びひろば住吉川・住之江塾・ひら子塾・新北島塾・みなみ塾を開設し、学習環境の場を設定 年間450回実施(10月末時点) &lt;放課後学習チャレンジ教室事業&gt; 小学校7校にて学習支援を実施(10月末時点)</p> <p>【5年度】 &lt;基礎学力アップ事業&gt; 加賀屋塾・南港塾・真住塾・住一塾・安立塾・学びひろば住吉川・住之江塾・ひら子塾・新北島塾・みなみ塾を開設し、学習環境の場を設定 年間843回実施 &lt;放課後学習チャレンジ教室事業&gt; 小学校5校にて学習支援を実施</p> <p>【4年度】 &lt;基礎学力アップ事業&gt; 加賀屋塾・南港塾・真住塾を開設し、学習環境の場を設定 年間275回実施 &lt;放課後学習チャレンジ教室事業&gt; 小学校6校、中学校1校にて、学習支援を実施</p>	4,929千円

クローズアップ —取組の解説—

■民間団体や企業との連携による学習支援・学習指導を実施しています

- ・区内小学5・6年生と中学生を対象とした「基礎学力アップ事業」は事業者と区が協定を締結し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用して受講できる塾を区内小学校6か所、中学校4か所で運営しています。
- ・区内小学生を対象とした「放課後学習チャレンジ教室事業」は、事業者と区や学校が協力し、児童の状況に合せた少人数制の学習支援を行っています。

基礎学力アップ事業の様子



チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

方向性	課題	方向性
	プログラミング学習を前面に打ち出し、一定の参加実績はあったが、より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。	学校の授業の一環としても実施できないか、学校や事業者など関係先との連携を図りながら検討していく。
計画	取組内容	指標
画	<p>●キャリア教育の一環として、小中学生を対象に、プログラミング的思考(論理的思考力)を育むことで思考力・課題解決力・判断力・表現力等の資質・能力の育成をめざすプログラミング教育を題材とした体験学習を開催する。</p> <p>●将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちを育み、子どもたちがこれからの社会を「生き抜く力」を身につける機会を創出する。</p> <p>●楽しく遊び感覚で運動に取り組むことで幼少期から運動習慣を身に着ける機会提供する。</p>	<p>体験学習に参加する児童・生徒対象のアンケートにおいて、プログラミングへの関心や体験学習の理解度について肯定的な回答の割合 70%以上</p>
	前年度までの実績	予算案
	<p>【6年度】キャリア教育の一環としてプログラムを実施 8～11月講座を3回実施、延べ58名参加</p> <p>【5年度】キャリア教育の一環としてプログラムを実施 8～11月講座を4回実施、延べ12名参加</p> <p>【4年度】キャリア教育の一環として、プログラムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏開催:7～9月5回連続講座を実施 延べ19名参加</li> <li>・秋開催:10～11月単発講座を7回実施 延べ44名参加</li> </ul>	—

クローズアップ —取組の解説—

■キャリア教育

- 「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。
- 住之江区では、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むための体験を得る機会を創出していきたいと考えています。



キャリア教育事業の様子

# 経営課題1 子どもたちの未来のために

## 【具体的取組1-2-2】

チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

### 委員からのご意見

### 分類

### 対応方針

**【部会】**  
「すみのえ未来塾」で実施しているプログラミング学習の実施告知にミマモルメを活用してはどうか。

④

ミマモルメのメッセージ機能は緊急情報を中心に運用されていますが、学校長との意見交換の場等において活用の可能性について確認してまいります。

**【部会】**  
プログラミング学習を学校の授業に取り入れてみてはどうか。

①

委員の意見を受け、令和6年11月に小学校1校で5年生を対象に実施いたしました。

**【部会】**  
プログラミング学習の対象を小学3年生までに下げてみてはどうか。5年生にもなると親と行きたがらない。

③

対象学年に幅を持たせられるよう検討してまいります。



※分類 ①既実施 ②当該年度において対応予定 ③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定  
④今後引き続き検討 ⑤対応困難または対応不可 ⑥その他

委員からのご意見

分類

対応方針

【全体会】

プログラミング学習は非常にいいが、チャレンジ精神の醸成には繋がらないと思う。課題を乗り越える要素に留意してやっていくべきでは。

チャレンジ精神の醸成にもつながるよう、子ども達が試行錯誤を繰り返し課題を乗り越える要素もプログラミング学習に取り入れておりますが、小学校での実施実績を踏まえ、内容の充実を図ってまいります。

①



※分類

①既実施

②当該年度において対応予定

③次年度運営方針に反映または次年度に対応予定

④今後引き続き検討

⑤対応困難または対応不可

⑥その他